

# 令和5年度 市長施政方針・予算

令和5年第1回市議会定例会(会期2月22日～3月17日)で、小谷野市長が5年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。今月は、その概要をお知らせします。



第1回市議会定例会で施政方針を述べる小谷野市長

## 【施策方針の要約】

**全世界に大きな影響を与えた新型コロナウイルス感染症の状況は、依然として収束しないもの、社会全体が抱いていた危機的と思われる事態からは脱却しつつあります。5年度の予算案につきましては、ポストコロナの新しい時代において、本市が持つポテンシャルがより発揮されるよう取り組み、市民の皆さまの期待に応えることを念頭に編成いたしました。**

**【新型コロナウイルス感染症対策】**では、引き続き、県や医療機関などと連携し、適切に対応してまいります。また、ワクチン接種につぎましては、国の方針に沿って接種体制を確保してまいります。**【物価高騰対策】**では、物価の高騰が市民生活に与える影響を注視し、国の経済対策などを踏まえながら、適宜、対策を講じてまいります。

**【若い世代を増やす】**では、本市の人口は、2年連続して大幅な社会増となり、この流れをさらに加速できるよう「親元同居・近居支援補助制度」や「若い世代の住宅取得支援補助制度」を引き続き実施してまいります。子育て世帯への支援では、こども医療費の支給対象年齢を、本年10月受診分より、これまでの15歳年度末から18歳年度末までに拡大します。ヤングケアラーへの対応では、引き続き、学校などにおける啓発や周知に努め、子どもたちが将来の夢を諦めることのないよう、支援に取り組んでまいります。

**【まちと産業に活力を】**では、入曽駅周辺整備事業において、入曽駅橋上駅舎と東西自由通路の工事に着手し、7年3月のまちびらきに向けて整備を進めてまいります。中小企業・小規模事業者への支援では、狭山市ビジネスサポートセンターにおいて、全国20

力所のBizネットワークでの取り組みが始まっており、地域を超えた連携を図ることによって、さらなる支援の強化につなげてまいります。

**【楽しむ健康高齢社会を】**では、地域包括ケアにおいて、柏原・水富圏域を分割し、6年度に水富圏域に新たな地域包括支援センターを設置するよう取り組んでまいります。また、6年度から8年度までの3カ年を計画期間とする「第9期狭山市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に取り組んでまいります。成人健診では、乳がんや子宮がんの早期発見を促すために、引き続き「初回検診無料キャンペーン」を実施するとともに、新たにウィッグや胸部補整具の購入費用を助成してまいります。

**【市政運営をみんなのちからで】**では、これからの行政運営において、スマート自治体への転換を進めてまいります。窓口業務の改善では、亡くなられた方のご遺族が必要な手続きをスムーズに進められるよう、10月をめどに「(仮称)おくやみコーナー」を設置します。シティブロモーションでは、市民向けの「インフルエンサー養成講座」を実施し、地域への関心を高め、郷土愛の醸成に取り組んでまいります。

環境保全と脱炭素社会の実現

に向けた取り組みでは、市内中小企業などの脱炭素化を図るため「狭山サステナビリティ・トランスフォーメーション(略称SXX)」を実施し、エネルギー利活用に向けた方策を検討してまいります。また、一般家庭の脱炭素化に向け、グリーンエネルギー推進補助金を増額し、省エネエアコンへの買い替えを促す補助事業も実施します。

3年前は、新型コロナウイルス感染症の出現により、世界中が不安と悲観に包まれましたが、それらを打破した原動力は自分ができることに集中し、状況を改善させるべく努力するという、人の力でした。今後、社会がどのように変わろうとも、私たちは素晴らしいまちを、「誰ひとり取り残さない」社会をつくることができそうです。子どもや若い世代を応援し、持続可能な社会をつくることができます。強い意志と矜持(きんぎょ)を持ち、元氣な狭山をつくるという、大きな目的に向かって歩もうではありませんか。皆さまのご理解とご協力を心からお願ひし、本年も本市の発展のために全力で市政運営に取り組んでまいります。

次のページでは、4つのテーマに沿って、今年度に取り組み重点事業をお知らせします。

# 令和5年度に取り組む主要事業

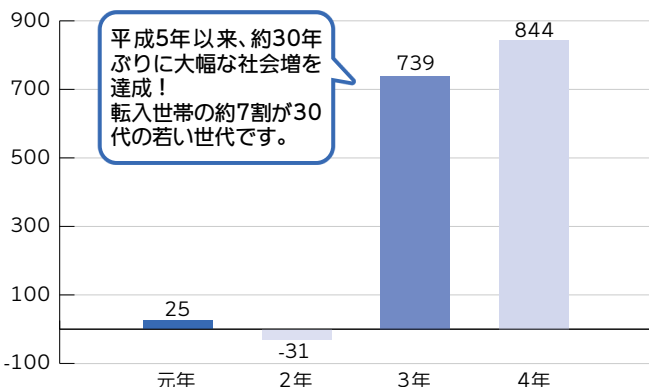
テーマ

## ① 若い世代を増やす

少子高齢化と人口減少対策に取り組み、女性の力を活かし、人口減少を克服する持続可能なまちづくりを進めます。



### 狭山市の人口社会増減の推移



### 若い世代の移住・定住促進 6,575万円

市内で親世帯と同居、または近居する世帯に対し、住宅の取得または増改築に係る費用の一部を補助します。また、市内に住宅を新築または新築住宅を購入する若い世帯に対し、費用の一部を補助します。

### 子ども・子育て支援 6億4,321万7千円

妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援を一体的に取り組む「出産子育て応援事業」を行い

ます。また、「こども医療費」の支給対象年齢を、10月受診分より15歳年度末から18歳年度末までに拡大します。

### 仕事と子育ての両立支援 3億1,432万1千円

直近4年間で保育所の定員を386名増やしました。5年度は、入曽地区に定員90名の認可保育所を整備する事業者へ補助金を交付します。また、妊娠期から子育て期にわたる支援を充実させるため、入曽地区子育て支援拠点施設を6年1月の開所に向けて整備します。

### 学校教育支援の充実と快適な学習環境の整備 11億5,269万9千円

教員が教育活動により注力できるように「スクール・サポート・スタッフ」を全小・中学校へ配置します。また、不登校児童・生徒や人間関係の悩みなどを抱える児童・生徒と子育ての悩みを抱える家庭への支援を充実するため、さやまっ子相談員などを増員します。

また、老朽化した小・中学校の空調設備の更新、外壁や内装などの改修、照明設備のLED化を進めます。







第4次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、5年度に行う主な事業を紹介します。

テーマ  
②

## まちと産業に活力を

産業を活性化し、駅周辺に賑わいを創出し、人と企業に選ばれるまちづくりを進めます。

7年3月の  
まちびらきを  
目指して！



入間小学校跡地利活用事業で事業者が整備する商業施設①、入曽駅新駅舎とロータリー②③④ ※画像はイメージであり、施工により確定します

### 安全と賑わいの入曽駅周辺整備 10億4,850万4千円

7年3月のまちびらきを目指し、入曽駅周辺の安全性や利便性を高めるため、整備を行っています。

5年度から入曽駅橋上駅舎と東西自由通路工事に着手します。また、入曽地区の賑わい拠点となるよう、入間小学校跡地利活用事業を推進します。



5年3月時点の様子

### 農業者への支援 2,669万6千円

JAなどと連携して国や県の補助制度を活用し、新規就農者を育成します。また、農業機械の導入や畑地かんがい施設の改修などに対して補助を行うとともに、スマート農業の導入に対する補助を拡大します。



### 都市計画道路の整備と新たな産業基盤づくり 3億1,343万2千円

狭山市駅東口と東京狭山線を結ぶ「狭山市駅加佐志線」の8年度の供用開始を目指し、用地取得や道路改良工事を行います。また、圏央道インターチェンジ周辺地区について、新たな工業系の土地利用転換を推進します。



### 中小企業・小規模事業者への伴走型支援 9,569万9千円

販路開拓や新製品開発、スタートアップなどを支援するため、狭山市ビジネスサポートセンター(SayaBiz)による伴走型ビジネスコンサルティングを実施します。全国20カ所のBizネットワークによる地域を超えた連携により、さらなる支援の強化を図ります。



テーマ  
③

## 楽しめる健康高齢社会を

子どもから高齢者まで健康でいることが当たり前となるよう、安心、健康、便利なまちづくりを進めます。

### がん対策の総合的な推進

2億8,049万7千円

成人検診の受診率向上に取り組みます。乳がんや子宮がんの早期発見と治療を促すため、女性のがん検診無料キャンペーンを継続します。また、がん患者の経済的負担の軽減や療養生活の質の向上に向けて、ウィッグやケア帽子、胸部補整具といったアピアランスケア用品の購入費用の助成を新たに実施します。



### 防犯対策の強化と犯罪被害者等の支援

5,632万8千円

巧妙化かつ凶悪化する犯罪に対し、警察や自治会などと連携した防犯活動や啓発活動を強化します。また、犯罪被害者やその家族が受けた被害の早期回復と軽減を図り、再び平穏な生活を営むことができる地域社会を実現するため、犯罪被害者等支援条例を制定します。



### 地域包括ケアの推進

2億3,440万6千円

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市内7つの日常生活圏域ごとに地域包括支援センターを開設しています。このうち、柏原・水富圏域を分割して8カ所とし、6年度をめぐに柏原、水富圏域に新たな地域包括支援センターを設置するための準備を進めます。



### 公共交通の充実

3,098万9千円

市民の移動手段を確保するため、市内の公共交通の最適化に向けて地域公共交通計画を策定します。また、堀兼地区デマンドバスのさらなる利用者の拡大に取り組みます。



テーマ  
④

## 市政運営をみんなの力で

市民、団体、事業者、行政が協働し、新時代にあふさわしい元気なまちづくりを進めます。

### スマート自治体への転換

1億157万9千円

市役所に出向くことなく、いつでも、どこでも、誰でも必要な行政手続きが可能となるよう手続きのオンライン化を進めます。そのため、マイナンバーカードの取得を促すとともに、証明書などのコンビニ交付手数料を減額します。



### ゼロカーボンシティの実現

3,166万3千円

市内中小企業などを対象に、二酸化炭素排出量の可視化や専門家の活用に対して補助を行い、省エネルギー化への設備投資や再生可能エネルギーへの切り替えを促進する「SSX(狭山サステナビリティ・トランスフォーメーション)」を新たに実施します。また、一般家庭を対象に、太陽光発電システムや蓄電池、電気自動車、省エネ効率の高いエアコンの購入に対し、補助金を交付します。



### ワンストップ窓口の拡充

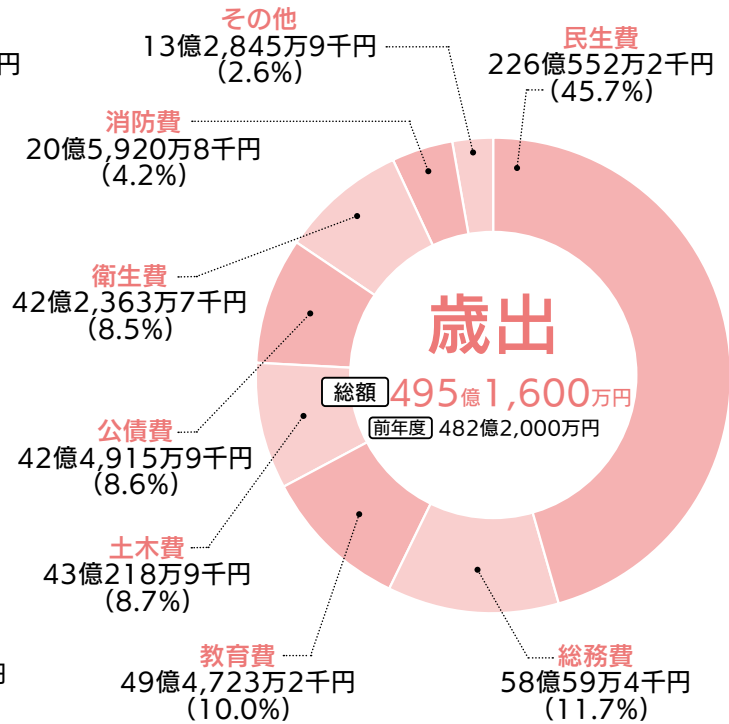
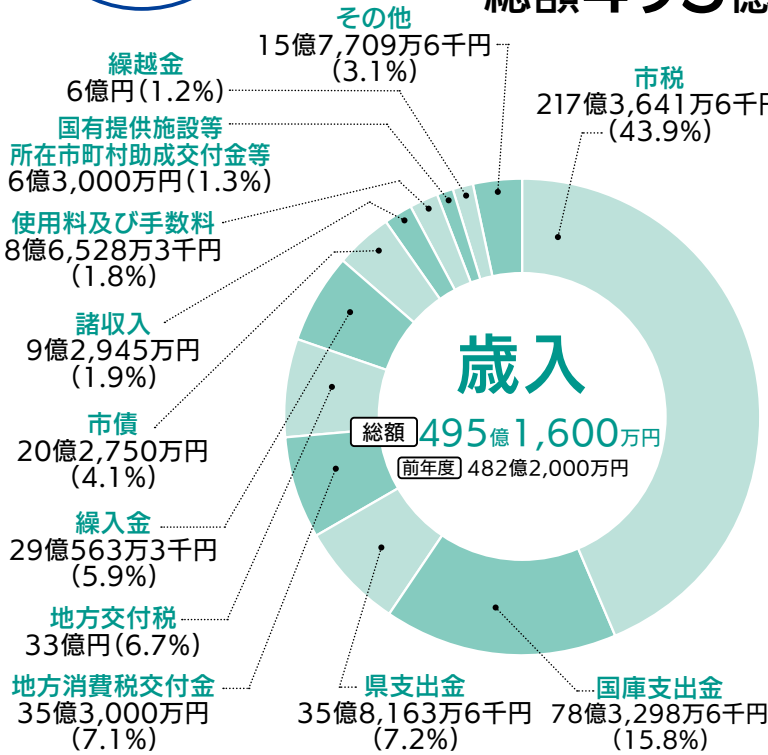
4,544万9千円

各種証明書の発行や福祉の総合窓口などワンストップ窓口を開設しています。10月をめぐに、亡くなられた方のご遺族が必要な手続きをスムーズに進められるよう「(仮称)おくやみコーナー」を新たに設置します。



# 5年度 一般会計当初予算の概要

総額495億1,600万円



歳入の約4割以上を占める市税について、市民税は新型コロナウイルスによる景気停滞からの回復、固定資産税では家屋の新増築分の増収を見込んだことから、増額となっています。

歳出の4割以上を占める民生費は社会保障関係費が伸びており、総務費は4つの選挙執行事業の実施など、教育費は中学校の校舎などの外壁改修や小学校の除湿温度保持工事の実施などによりそれぞれ増額となりました。一方で、消防費は防災行政無線デジタル化工事の完了などにより減額となっています。

市民1人当たりに使われるお金…年間で約33万2千円

※5年1月現在の人口149,360人を基準に算出

<p><b>民生費</b></p> <p>151,349円</p> <p>子どもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費</p>	<p><b>総務費</b></p> <p>38,836円</p> <p>市有財産の管理や一般事務などに要する経費</p>	<p><b>教育費</b></p> <p>33,123円</p> <p>学校教育や生涯学習に要する経費</p>	<p><b>土木費</b></p> <p>28,804円</p> <p>道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費</p>
<p><b>公債費</b></p> <p>28,449円</p> <p>道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の返済に要する経費</p>	<p><b>衛生費</b></p> <p>28,278円</p> <p>保健衛生やごみ処理などに要する経費</p>	<p><b>消防費</b></p> <p>13,787円</p> <p>消防や災害対策に要する経費</p>	<p><b>その他</b></p> <p>8,895円</p> <p>市議会運営や農業振興などに要する経費</p>

## 狭山市の予算と財政状況を公表します

令和5年度の一般会計、特別会計の当初予算と4年度下半期の予算執行状況、財産や基金の状況を公表します。

日程 5月1日(月)～7月31日(月)

場所 市役所1階情報公開コーナー、入曽地域交流センター、地区センター、図書館

※休館・休所日は除く。市公式ホームページでもご覧いただけます

問合せ 財政課へ ☎2935-6633